

江ノ島の魅力について

実際に江ノ島に行って、まず感じたのは海風だった。江ノ島駅を降りて少し歩いて、江ノ島弁天橋辺りから全面に広がる海から風を受けて、波の音を聞いて島に入った。小さな島なので、島の中を回っていても何度も海を見ることになる。暑い日差しの中でその度に吹く海風が涼しく、そういった島にいる特別感を意識させられた。初めに、仲見世通りを通過して江ノ島神社へ行き、坂や階段を上ったり降りたりしながら、岩石が隆起した島であることを体感しながら、各神様が祀られた辺津宮・中津宮・奥津宮を参拝した。島に入る前に見えていた通り自然豊かな神社だった。その後は岩屋に行った。岩屋は波によって削られてできた洞窟で、中は薄暗く、冷たい空気が流れていて、すぐ外のよく日が当たってピカピカした海とは対照的だった。また、ここは古くから神秘的な場所として信仰や観光で栄えていて、江戸時代には手元の蠟燭によって参拝していたが、今でも蠟燭の貸し出しがあり、風情ある蠟燭で照らしながら巡る洞窟はいっそう神秘的な雰囲気にも包まれていた。このように江ノ島には様々な店など都市的な魅力と、海に囲まれた小さな島としての、自然の魅力の両方を併せ持つ唯一無二の観光地であると感じた。